

## クエストラ: クラウド型ワークフロー、オリジナル自動工程の追加機能を実現 ～「Slack への投稿」や「CSVに変換」といった自動処理工程も、設置可能に～

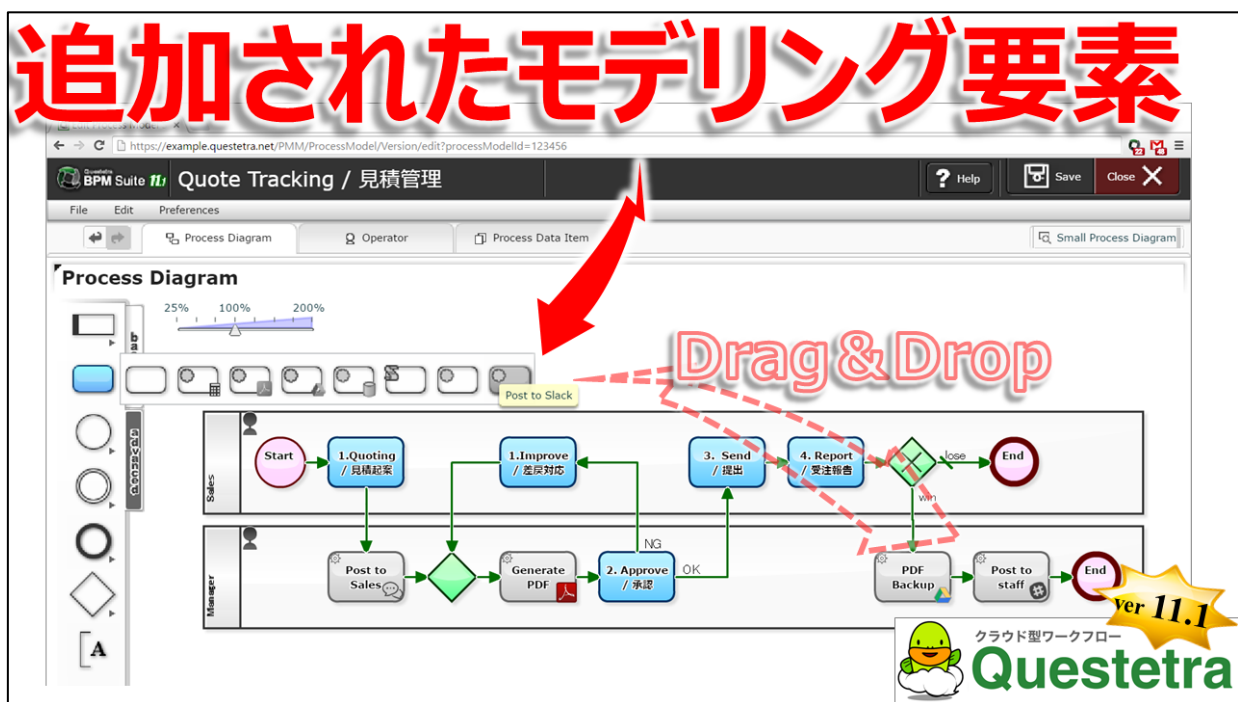
SaaS ベンダーの株式会社クエストラ(京都市、代表執行役 CEO 今村元一)は9月5日、クラウド型ワークフロー製品である『Questetra BPM Suite』の新バージョン 11.1 を公開しました。新バージョン 11.1 では、「他のクラウドへの自動投稿」や「CSV データに自動変換」といった標準機能にはないモデリング要素を追加できるようになります。(サービス工程追加機能)

たとえば「見積書の提出業務」をワークフロー化(業務システム化)する際には、プロセスオーナー(業務管理者)は、幾つかの人間処理工程と自動処理工程を並べることで業務プロセス定義(モデリング)を行います。具体的には、(1)見積内容を起草する、(2)見積案を承認する、(3)見積書を提出する、(4)受注の成否を報告する、(5)受注につながった見積 PDF はファイルサーバに保存する、といった工程アイコンを Drag & Drop で配置して定義します。

これまで、あらかじめ組み込まれている「PDF を自動生成する」や「Google Drive に自動保存する」といった自動処理工程であれば誰でも簡単に処理の自動化を実現することが可能でしたが、標準のモデリング要素として組み込まれていない処理を自動工程化したい場合にはスクリプトを記述する等の高度な設定が必要でした。新バージョン 11.1 からは、演算処理や通信処理がパッケージ化された「アドオン」をインポートすることで、モデリング要素そのものを追加できるようになります。つまり、「受注成否を Slack で他部署にも共有」といった自動処理工程も、簡単に配置できるようになります。

導入企業様は今後、「自動工程化を通じた生産性の向上」を積極的に推進していただけるようになります。

サンプル画像⇒ <https://www.questetra.com/ja/info/addons-for-process-modeler-20160905/>



<Service-Task Addon 機能>

### 【Questetra BPM Suite とは】

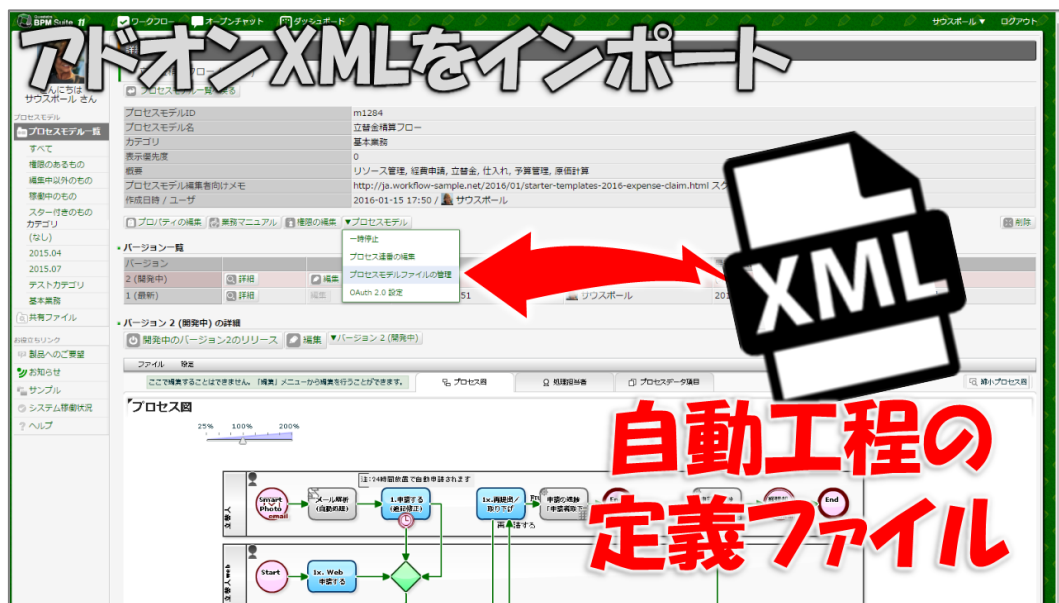
クラウド型ワークフロー『Questetra BPM Suite』は、ペーパーレス環境やリモートワーク環境を実現するための業務プラットフォームです。各工程に到達した案件はログインユーザ(社員)によって作業結果が入力され、自動的に次の工程に流れていきます。最大の特徴は業務の流れを Drag & Drop 操作で簡単に変更できるところにあり、業務責任者(プロセスオーナー)は日々の業務の中で業務プロセスを少しずつ改善することが可能です。(BPM: Business Process Management)

「稟議承認」「文書翻訳」といったシンプルな業務だけでなく、「出荷前品質チェック」や「請求書発行入金確認プロセス」といった複雑な業務にも利用できるため、社内の様々な業務進捗を一元的に可視化することが可能となります。インポート可能な業務サンプルは 500 種以上公開されています。( <http://ja.workflow-sample.net/> )

## 【サービス工程追加機能について】

サービス定義ファイル(アドオン XML)を予めインポートしておくことで、業務モデリングの際にオリジナルのサービス工程(サービスタスク)を利用できるようになります。定義ファイル(アドオン XML)が入手できない場合には、自作することも可能です。

- モデリング要素のサンプルおよび追加方法: <https://www.questetra.com/ja/tour/m4/m415/>
- サービス定義ファイルの自作方法: <https://www.questetra.com/ja/tour/m4/m416/>
- サービス工程の活用シーン: <http://ja.workflow-sample.net/2016/08/automated-step-5.html>



<Addon-XML のインポート>

## 【その他の機能改良について】

### <スクリプト工程の強化>

自動処理工程を実現する[スクリプト工程](スクリプトタスク)において、「HTTP リクエストを送出するメソッド」および「メールを送出するメソッド」等が利用できるようになります。これまで[メッセージ送信中間イベント]として別途配置していた外部通信処理を[スクリプト工程]だけで完結させることが可能となります。また外部通信機能の追加に伴って、自動処理工程のタイムアウト時間は 2 秒から 30 秒に延長されます。(アドオン XML にて追加された[サービス工程]も同様に 30 秒制限となります)

### <すべてのヒューマン工程の編集権限を一括して設定する機能の刷新>

処理工程と業務データのマトリクス構造となるアクセスレベル設定(読み書き設定)を、よりグラフィカルな設定画面に変更しました。また、設定したアクセスレベルは、CSV ファイルとしてインポート・エクスポートできるようになります。

### <[ソフト開発 API]の OAuth2.0 化>

外部システムからのリクエストにตอบสนองする[ソフト開発 API](Workflow APIs および System Settings APIs)につき、OAuth2.0 による API 通信が可能となります。現時点では Basic 認証通信および OAuth1.0 通信も利用可能ですが、OAuth1.0 通信については「将来バージョンにて利用できなくなる予定」(deprecated)となります。

★詳細については、リリースノートを御参照ください。

Ver. 11.1 リリースノート: <https://www.questetra.com/ja/info/version-1110/>

## 【クエストetra社について】

株式会社クエストetraは京都にある SaaS BPM ベンダーです。世界中のビジネスプロセスを最適化します。

商号: 株式会社クエストetra (Questetra, Inc.)

代表: 代表執行役 CEO 今村 元一

所在地: 京都市中京区御池通間之町東入高宮町 206 御池ビル 4 階

設立: 2008 年 4 月

資本金: 1 億 8250 万円

URL: <https://www.questetra.com/ja/>

本プレスリリースに関する問い合わせ: [pr@questetra.com](mailto:pr@questetra.com) or 075-205-5007